2026 年 11 月 13 日

各　　位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
（コード番号：8316）

剰余金の配当（中間配当）および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを本日開催の取締役会において決議し、また 2027 年 3 月期の普通株式 1 株当たり期末および年間配当予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

１．剰余金の配当（中間配当）の内容

	決　定　額	直近の配当予想 （2026年5月13日公表）	前期実績 （2026年3月期）
基　準　日	2026年9月30日	同左	2025年9月30日
1株当たり配当金（※1）	100円	90円	78円
配　当　金　総　額	379,100百万円	―	300,089百万円
効　力　発　生　日	2026年12月2日	―	2025年12月2日
配　当　原　資	利益剰余金	―	利益剰余金

（※1）当社は 2026 年 9 月 30 日を基準日、2026 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っておりますが、1 株当たり配当金の金額は、株式分割実施前の株式数を基準とした金額となります。

２．配当予想の修正内容

	1株当たり配当金（円）（※2）		
基　準　日	第2四半期末	期　末	年　間
前回予想（2026年5月13日公表）(A)			
株式分割前	90	90	180
株式分割後	45	45	90
今回修正予想 (B)			
株式分割前		100	200
株式分割後		50	100
当期実績 (B)			
株式分割前	（※3）100		
株式分割後	50		
増減額 (B－A)			
株式分割前	＋ 10	＋ 10	＋ 20
株式分割後	＋ 5	＋ 5	＋ 10

（※2）「株式分割前」は、株式分割実施前の株式数を基準とした金額、「株式分割後」は、株式分割実施後の株式数を基準とした金額となります。尚、実際の 1 株当たり配当金の金額は、中間配当は株式分割実施前、期末配当は株式分割実施後の株式数を基準とした金額となります。

（※3）「１．剰余金の配当（中間配当）の内容」における 1 株当たり配当金の決定額です。

３．理由

同日公表の 2027 年 3 月期第 2 四半期決算において 2027 年 3 月期の連結業績予想を引き上げたこと等に伴い、剰余金の配当（中間配当）を従来予想の 1 株当たり 90 円から 10 円増額して 100 円といたしました。

同様に期末配当予想も株式分割後で、従来予想の 1 株当たり 45 円から 5 円増額して 50 円としました。これにより、年間配当予想は株式分割後で 1 株当たり 100 円（株式分割前で 200 円）と、前回予想から、株式分割後で 10 円（株式分割前で 20 円）の増配を予想しております。

以　上

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得るリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有する有価証券の時価の下落、不良債権残高及び与信関係費用の増加、当社グループの国内外におけるビジネス戦略が奏功しないリスク、提携・出資・買収及び買収後の経営統合が奏功しないリスク等です。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。